

<令和2年度購入書籍>

番号	書名	著者名	出版社名
1812	インターネットはなぜ人権侵害の温床になるのか	吉富 康成	ミネルヴァ書房
1813	格差と不平等を乗り越える教育事始	外川 正明	解放出版社
1814	激変する社会と差別撤廃論 部落解放運動の再構築にむけて	北口 末広	解放出版社
1815	正義を振りかざす「極端な人」の正体	山口 真一	光文社新書
1816	スマホが学力を破壊する	川島 隆太	集英社新書
1817	子どもが危ない！スマホ社会の落とし穴	清川 輝基 内海 裕美	少年写真新聞社
1818	歪んだ正義「普通の人」がなぜ過激化するのか	大治 朋子	毎日新聞出版
1819	「犠牲区域」のアメリカ	石山 徳子	岩波書店
1820	戦後アイヌ民族活動史	竹内 渉	解放出版社
1821	国家と移民 外国人労働者と日本の未来	鳥井 一平	集英社新書
1822	身の回りから人権を考える80のヒント	武部 康広	解放出版社
1823	部落問題学習の授業ネタ2	中尾健次 星野勇悟	解放出版社
1824	部落問題学習の授業ネタ3	星野 勇悟	解放出版社
1825	多様性ファシリテーションガイド 参加型学習の理論と実践	森田 ゆり	解放出版社
1826	子どもの権利ってなあに？	文 アラン・セール 絵 オレリア・フロンティ 訳 福井 昌子	エルくらぶ
1827	2019年度史・資料プロジェクト報告集 近代編	部落史研究部会/史・ 資料プロジェクト	公益社団法人 福岡人権研究所
1828	子供が考え、議論したくなる学級づくり	加藤宣行	東洋館出版社
1829	加藤宣行の道徳授業 考え、議論する道徳に変える発問 &板書の鉄則45	加藤宣行	明治図書
1830	教科書をタダにした闘い 高知県長浜の教科書無償運動	村越良子・吉田文茂	解放出版社

1831	ゆがむメディアゆがむ社会 ポピュリズムの時代をふまえて	北口 末広	解放出版社
1832	ゲノム操作と人権 新たな優生学の時代を迎えて	天笠 啓祐	解放出版社
1833	A I と差別	反差別国際運動 (I M A D R)	解放出版社
1834	加藤宣行の道徳授業 考え、議論する道徳に変える教材研究&授業構想の鉄則 3 5	加藤宣行	明治図書
1835	加藤宣行の道徳授業 考え、議論する道徳に変える話し合い&道徳ノートの鉄則 4 5	加藤宣行	明治図書
1836	子どもに寄り添う道徳の評価	加藤宣行	光文書院
1837	実践から学ぶ深く考える道徳授業	加藤宣行・竹井 秀文	光文書院
1838	いつまで続く「女人禁制」排除と差別の日本社会をたどる	源 淳子	解放出版社
1839	レイシャルハラスメントQ&A 職場、学校での人種・民族的嫌がらせを防止する	金明秀	解放出版社
1840	人権ってなんだろう？	(一財)アジア・太平洋人権情報センター	解放出版社
1841	境界に生きる 暮らしのなかの多文化共生	孫 美幸	解放出版社
1842	行動力をはぐくむ教室 もちあじワークで多様な未来を	沖本和子	解放出版社
1843	被差別部落マイノリティのアイデンティティと社会関係	内田 龍史	解放出版社